



第2回常任理事会は11月12日(土)、オンラインを併用しながら水戸共同ビルにおいて開催されました。会場参加は9人、ズーム出席者は4人でした。議長は神原要事務局次長にお願いしました。



木村泉代表理事が「ロシアによるウクライナ侵略から9カ月。国際法違反、国連憲章違反の戦争を止めさせましょう。戦争になれば被害を受けるのは無辜の国民。戦争を起こさない外交が大事です。韓国に本部を置く旧統一教会と安倍家は、三代にわたって関係を持ち、日本の政治の中枢に食い込んでいた。徹底的な解明が必要だ。12月2日から県議選が始まる。東海第二原発再稼働反対、県民の平和、暮らしの先頭に立つ勢力を増やそう」の開会挨拶をしました。

今回の常任理事会では、百里基地等全国で展開されている大規模な日米合同訓練・共同統合実動演習(11月10日～19日)の危険性や新聞意見広告賛同金の取組みなどについて話し合われました。

■戦争を準備する「対中国」包囲作戦に、百里基地も使われている！

百里基地正門前において「日米合同訓練の中止を求める」抗議集会を11月9日(水)に実施しました。百里平和委員会の梅沢優さんは「本日12日は土曜日にもかかわらず、F16戦闘機が来て訓練をしている。緊迫した状況を設定した訓練を実施しているようだ。地上にいても、中国語と英語でやり取りをし

第2回 県平和委員会 常任理事会 報告

新聞意見広告賛同金への協力を訴え 反戦平和の世論を広げよう！

ながら、訓練をしている様子が分かった。領空侵犯対応の訓練だろう。先制攻撃こそ最大の防御というのが米軍だ。戦争を阻止するために行動しなければならない」と、生々しい訓練の実態を報告しました。

日本平和委員会事務局次長の岩月康則さんは「日米間で2年に1回行われる最大規模の共同統合演習・キーンソード(鋭利な剣)は『対中国』を想定し、東シナ海を包囲する訓練に百里基地も使われている。武力攻撃事態を想定し、沖縄が戦場になる作戦だ。アメリカは戦場にならない。沖縄、日本国民が火の粉を被る。日本を戦場にして戦争をするような軍事作戦にしているのか」と語り、「日本平和大会が間近に迫っている。学習パンフをもっと普及し、反戦平和の世論と運動を広げてほしい」と訴えました。

◎「NO! 大軍拡」の学習パンフは県内の会員5人に1人とどまっています。ご注文は事務局まで！

■旺盛な対話で新聞意見広告賛同金を広げよう！

ひたちなか平和の会の人見忠男さんは、「今年ひたちなか市長選や市議補選、県議選等があり、なかなか足が出ないでいる。今年の新新聞意見広告のデザインは、アンパイヤマンがメイン、正義をジャッジする審判員なんですね。これは見事だと、私は感じた。新聞意見広告賛同金は、県平和委員会の財政を支えていることは分かっているのがありがたい」と述べました。

その他「秋のチラシ駅頭配布について」「東海第二原発再稼働反対の取組み」「土地利用規制法と自治体要請」「平和かわら版への投稿のお願い」など、延べ16人の発言がありました。

◎「茨城県議選にあたってのアピール～県民本位の県政の実現をめざすとともに、反戦平和と護憲の勢力を伸ばそう～」を採択し、閉会となりました。

県統一のビラ 1,120枚を戸別配布！ 顔を見かけたら、対話を進めて

かすみがうら平和の会は、今年の秋の宣伝行動で県統一のビラ1,000枚を戸別配布しました。合併した旧千代田地区の会員は市街地の団地に500枚、旧出島地区の会員は農村部に500枚、顔を見かけた家には、宣伝行動の趣旨を説明しながら配布しました。

さらに、県の事務局に余っていたビラ120枚を、ショッピングモール周辺の比較的若い世代(30～50代)が住んでいる団地に戸別配布しました。

かすみがうら平和の会

ここでは30代位の女性が「『投票に行こう!』って書いてあるけど、何の選挙があるの?」と尋ねてくる場面がありました。「12月に県議選があります」と答えると、「県議選かあ、行ったことないなあ」と言われたので、「東海第二原発の再稼働問題もありますので、ぜひ、今度は投票してください。」と付け加えました。



共同の輪を広げ、大軍拡・安保法制をとめよう

「11.3 国会前大行動」に参加して

憲法発布記念日の11月3日(木)、国会前に行ってきました。「平和の会しもつま」の70代2人と60代の1人。参加者が4,200人がいたことは翌日の新聞で知りました。印象としては、コロナ前と比べたら、だいぶまばらな感じ。各政党代表のあいさつとメインスピーチとして弁護士や落語家の古今亭菊千代さんらのお話がありました。話の趣旨は、プラカードに書かれた「軍拡反対! 武力で平和はつukれない」ということ、それに尽きると思います。

ここからは、私の個人的な感想にて、報告と致します。

◆私は2年9ヶ月ぶり(2020年2月以来)の東京でした。守谷駅から乗ったつくばエクスプレス、最高速度に達した時のその速さに、思わずおしゃべりが止まり、身体が一瞬硬直しました。何度も乗っていたTXの、そのスピードに驚いている自分。ブランクの長さよ。

◆右翼の妨害街宣のひどさ 約1時間半の集会の後半部分のメインスピーチのころ、「こらあー」とか「おまえらあー」の怒声とともに「尖閣列島は…」「9条、9条ってそればかり…」と、こちらのスピーチが全く聞こえないくらいの執拗な嫌がらせ演説。これまでもいろいろな会場で経験したが、今

平和の会しもつま



回はのろのろ移動なのか、長い時間、近距離で邪魔していた、と思います。

◆もやもや気分の

帰途の信号待ち、隣のお父さんが持ったのぼり旗。「越谷9条の会」。そのときまた街宣車が前の道路を通過した。でも私が驚いたのは、右翼にではなく、全く表情を変えずに歩きだした越谷父さんやその周囲の人たち。集会でも参加者たちは、街宣の声は全く耳に届いていないように冷静だった。信念とか強い意志とはこういうものなのか。「改憲NO!」の思いで、一心不乱で傾聴している人に、軽薄な街宣の声は届いていないのか。

◆一緒に参加していた桜川に住む藤井さんは、下妻での会合にはなかなか参加できないが、東京での行動には応じてくれる。そこで半年分の会費と新聞意見広告賛同金をいただく。それは有楽町JR線ガード下に近い酒場でのやり取りである。マスクを外して熱く語り合う仲間がいること、最高です!【平和の会しもつま 事務局長 青木 勇】



軍事対軍事では、国家間の対立をおおるだけ!

日米共同訓練中止を求める「百里基地抗議集会」に50人が!

百里基地反対連絡協議会(略称 百里連協)は11月9日(水)、航空自衛隊百里基地において、11月10日(木)から18日(金)の日程で計画されている日米共同訓練に対し、「訓練の中止を求める」申入れと抗議集会を基地正門近くで開催しました。緊急集会には、のぼり旗やプラカードなどを持って約50人が駆けつけました。

この日、小春日和で晴れ渡った空を切り裂きながら百里基地所属の戦闘機が数機ずつ離陸し、爆音を残しながら大きく旋回する姿が何度も見られました。日本国中で、日米共同訓練と演習が、公然と、大規模に、より実践的におこなわれる事態に進んでいます。

12日(土)は休日にもかかわらず日米共同統合演習(10日~19日・実動演習)がおこなわれ、「百里基地での航空機離発着」訓練が予定されています。

新日本婦人の会県本部副会長の横井さんが「日米共同訓練を中止し、基地周辺住民の負担を軽減させること」と要求書を読み上げ、防衛大臣及び百里基地司令に対し提出しました。受け取ったのは北関東防衛局とネームの入ったユニフォームを着た若い男性でした。所属は「渉外専門官」とのこと。「いただいた要求書は防衛省に届けます」と紋切り型の回答でした。

この後、百里基地反対同盟の梅沢優さん、県平和委員会事務局次長の石井明さんなど6団体の代表が「訓練はアジアに軍事的な緊張をもたらす」「軍事対軍事では対立をおおるだけ」「憲法9条を生かした平和外交を」などと訴えました。

日本平和委員会は、「米軍と共に自衛隊が他国を先制攻撃するーこの道を許さない」として、11月26日(土)27日(日)に開催される「日本平和大会」への参加(オンライン)を呼びかけています。水戸・土浦平和の会は視聴会場を準備しています。申込は、県平和委員会事務局まで。

